

☆もうすぐお別れ この風景



♪ 6本での揃い踏みも見納め

道の駅南国風良里オープン以来 22 年上段駐車場奥にあり、本紙紙面にも度々登場した上画像の『ワシントン椰子』と近日お別れです。周辺地域の宅地化等により強風時の落葉被害等の懸念から、所有者である高知県により今月中に伐採されることとなったもの。今迄あって当たり前だったものがなくなるのは寂しいが、時の流れでしょうか。 ♪ 今のうちにご覧下さいね。

猫のしっぽ 機会。先日の休み、昼のニュースで在所(ざいしょ)隕石が 1898(明治 31)年の落下から約 120 年ぶりに里帰り中というのを知り、早速自転車でライドがてら見に行った。アンパンマンミュージアムにほど近い香美市香北支所に展示中のそれは、分析のために切り取られた 14g の欠片で、断面に石と鉄の部分が模様を描く、日本国内唯一の貴重な石鉄(せきてつ)隕石(パラサイト)。同年 2 月 1 日の早朝 4 時頃現在の香美市香北町朴ノ木の農家の庭に落下し、後にプラネタリウムや天体望遠鏡で有名な五藤光学研究所の創始者で本県安芸市出身の五藤齊三氏が購入、東京大空襲に遭遇し焼け跡から掘り出される数奇な運命を辿ったもの。朴の木地区はアンパンマンの原作者やなせたかし先生の生地でもあり、パン工場に星が飛び込んでアンパンマンが誕生したというエピソードにこの故事が活かされているのかも。宇宙のロマンを感じる良い機会となりました。風猫子